

令和7年度 森林づくり県民税活用事業の実施状況について

北信地域振興局 林務課

北信地域の令和7年度の森林づくり県民税（以下、「森林税」という。）活用事業では、「再造林の加速」や「広く県民が親しめる里山づくり」、市町村が課題としている森林整備などの取り組みを進めるべく、管内の市町村や林業事業体により、各種事業を実施してきました。

管内の令和7年度事業の実施状況は、以下のとおりです。

1 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

① 再造林の加速化（信州の森林づくり事業）…事業一覧表 ①

- ・森林所有者の負担の大きい再造林費用や下刈りなどの経費の支援（補助率の嵩上げや省力化のための機械のレンタルへの支援）を、山ノ内町、木島平村、栄村で実施しました（植栽等面積7.89ha）。
- ・2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林の8割が50年生を超える本県の森林がCO₂吸収機能を発揮できるよう若い森林への更新の加速化を進めています。



山ノ内町竜王地区（カラマツ苗植栽）



山ノ内町竜王地区（自走式の無人機による下刈り）

② 防災・減災のための里山整備（みんなで支える里山整備事業）…事業一覧表 ②

- ・近年、局地的な豪雨等が増大する中、各地で頻発している土砂災害や流木被害を防ぐため、山腹崩壊等の危険性が高いとされる箇所での森林整備を進めています。
- ・安全な暮らしを守るため、中野市、栄村で手入れが遅れている森林の間伐をしました。



中野市更科地区（搬出間伐 9.99 ha）



栄村泉平地区（搬出間伐 2.64 ha）

2 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

① 開かれた里山の整備と利用の推進

・地域住民による里山の整備・利活用のための森林整備やより多くの県民がレクリエーションなど広く楽しめる「開かれた里山」整備のため、2地域で森林や施設の整備を実施しました。

●中野市栗林地域（里山整備利用地域活動推進事業）…事業一覧表 ③-2

・浜津ヶ池周辺の散策拠点整備のため、不良木40本を伐採しました。
今後は地元「栗林区」において自生しているコナラなどの稚樹を育て、地域に親しまれる広葉樹の森林を造っていきます。



整備状況



自生したコナラ

●飯山市小境・鷹落山麓地域（里山整備利用地域活動推進事業ほか）…事業一覧表 ③-2

・針広混交林への誘導や環境教育の場として利用するために、小境・鷹落山麓里山整備利用推進協議会が間伐や森林作業道の整備に合わせ、消防士や文化学園長野の学生など一般の方も対象としたチェーンソー講習会や林業の体験活動・木材利用などの森林教室も開催しました。
・森林整備の過程で伐採された木はベンチや薪等に加工し、無駄なく利用しました。



消防士を対象にしたチェーンソー講習会

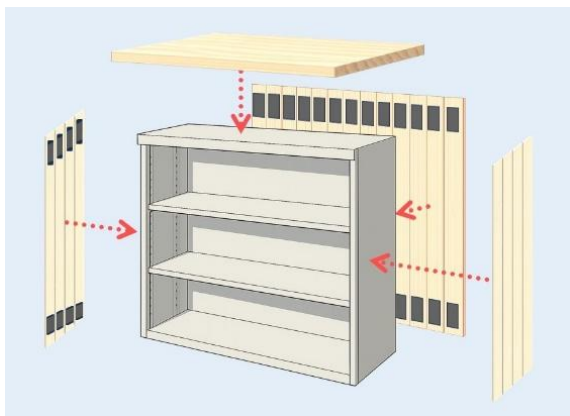


森林教室で学生がベンチ作りを体験

② あたりまえに木のある暮らし推進事業

●北信合庁2階フロア 受付カウンター（木造・木質化）…事業一覧表 ④-1

- ・職員が気持ちよく働ける執務環境づくりの一環で、2階フロアの各課に受付カウンターとして設置（再利用）したスチール製の書類キャビネットを木質化しました。
- ・木質化はマグネットシートを取り付けた木材の板でスチール製のキャビネットを覆うだけの簡易な構造で、入札で発注した部材を各課職員の協力によるDIYで組み立てました。受付は合同庁舎に来訪されるお客さんをより温かく迎える雰囲気になりました。
- ・また、この木質化の取組経過などを広く知ってもらうため、受付の天板には取組を紹介したブログのQRコードをレーザー加工し、森林税を活用したことを含めてPRしています。



キャビネットの木質化イメージ



各課職員の協力でDIY



木質化した各課の受付カウンター



画像QRを読み込んでみてください!

●長野県木材青壮年団体連合会（木工体験の推進支援）…事業一覧表 ④-2

- ・9月23日（秋分の日）に中野市で開催された「2025 信州なかの環境フェア」において、長野県木材青壮年団体連合会（木青連）が来場者50組に木製イスの製作を手ほどきし、地域産材のPRに合わせ、木の温もりを感じていただきました。



③ やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等

● 下高井農林高校（学びと育ちの森づくり推進事業） …事業一覧表 ⑥

- ・授業で利用する演習林において、歩道や劣化したトイレを生徒自ら整備をした他、野生動物の生態調査活動に使うセンサーカメラなどの機材を導入しました。



歩道の整備状況



クマの生息調査のためのカメラ設置状況

3 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

○ 森林サービス産業総合対策事業（森林空間整備・施設整備） …事業一覧表 ⑩-1

- ・飯山市の森林セラピー®の小菅・北竜湖エリアの拠点となっている管理棟の外壁と屋根の経年劣化が進んだため、塗装による修繕を行いました。



改修前



改修後

4 市町村と連携した森林等に関する課題の解決

○ 市町村森林整備支援事業

● 緩衝帯整備

中野市（倭地区 3.00ha）…事業一覧表 ⑬-3

- ・中野市は市内全域の森林と農地の境界部に広域電気柵（総延長約 46km）を設置しています。
- ・本事業で電気柵に隣接する茂みを一定幅で伐採することにより、野生鳥獣の出没抑制効果と電気柵の設置効果を一層高めるための環境づくりを進めています。
- ・市では広域電気柵を設置する集落ごとに年度別の緩衝帯整備計画を定め、計画的な整備により、農業被害の軽減を目指します。



整備前



整備後

飯山市（木島地区安田区ほか 2ヶ所 6.2ha）…事業一覧表 ⑬-3

- ・中山間地域を広く抱える飯山市の里山と集落の間に存在する荒廃森林や荒廃農地は、クマやイノシシなどの移動・潜伏場所となっており、そこを拠点に野生鳥獣が集落に出没しています。
- ・飯山市では緩衝帯の整備により山際の見通しを良くすることで、野生鳥獣が集落に出没しにくい環境づくりを進め、農業被害の軽減や人身被害防止を目指します。



整備前



整備後

●観光地等景観整備

山ノ内町（志賀高原奥志賀公園線 道路延長 250m）…事業一覧表 ⑬-2

- ・志賀高原は、長野県、群馬県、新潟県の県境にまたがる上信越国立公園に位置する国内屈指の観光地で、通年で観光客の入り込みの多い森林エリアです。
- ・志賀高原山麓方面へと続く県道奥志賀公園線沿いでは、藪や枝が繁茂し、周辺の景観が損なわれていました。そこで、除伐や枝落とし、さらには枯損木の処理など景観の整備をしました。
- ・山ノ内町では森林税事業を活用しつつ、森林の風致景観保全と観光利用を適切に推進する国立公園を目指すこととしています。
- ・町ではこの他に、**宇木地区で 1.45ha の緩衝帯整備**を実施しました。



整備前



整備後

●ライフライン保全対策

木島平村（スキー場地区 枯損木伐採 1本）…事業一覧表 ⑬-1

- ・木島平村では、倒木による電線の断線や、道路破損等を未然に防ぐため、ライフラインに被害を及ぼす可能性のある樹木の伐採を進めています。
- ・今年度は主要道路沿いの、倒木の危険性が高い枯損木を優先的に処理しました。



整備前



整備後

栄村（小赤沢地区 立木伐採 39本）…事業一覧表 ⑬-1

- ・栄村では、令和2年12月の大雪による多数の倒木・枝折れが通行障害や大規模停電を引き起こしたことから、ライフライン保全対策に力を入れています。
- ・事業では、道路や電柱・電線沿いで倒木になりそうな立木39本を伐採し、住民の安全・安心な暮らしの確保に取り組みました。
- ・村ではこの他に、**屋敷地区で3.0haの緩衝帯整備**、**上野原地区で観光地の景観整備**として105本の不要木を伐採しました。



整備前



整備後（電線隣接木を伐採）

5 普及啓発

○ みんなで支える森林づくり推進事業…事業一覧表 ⑮-1

- ・森を健康に保つための整備や、学校・公共施設での木材利用の推進などに活用されている「森林づくり県民税」が、北信地域ではどのように使われ、どんな成果が生まれているのかを皆さんにわかりやすくお知らせするためのチラシを作成して、市町村広報誌に合わせ北信地域の全世帯へお届けします。また、チラシに載せきれない詳しい内容や事例を紹介する専用ページを、局のホームページに設けます。

長野県北信地域振興局からのお知らせ 保存版

**皆さんからいただいた税金や募金が
身近な森林や緑を守り育てます**

木材だけでなくキレイな水や空気の供給のほか、大雨による災害防止や地球温暖化防止など、私たちに欠かせない恵みを与えてくれる森林を守り育てるために皆さんからの税金や募金を役立てています。

① 森林環境税
(国税 1,000円/年・人)

森林環境税

所有者不明などで、手入れが滞っている森林の管理や整備を行うための税金です。

② 長野県森林づくり県民税
(県税 500円/年・人)

森林税

長野県の森林林業の課題解決や、豊かな森林資源を私たちの暮らしに活かすための税金です。

森林づくりはみんなで続ける取組だね 山ちゃん

税や募金が取組を支えているだね 緑ちゃん

長野県森林づくり県民税PRキャラクター

③ 緑の募金

募金活動は法律に基づく全国的な国民運動です。この募金を活用して地域の緑化活動を応援します。

公益社団法人 国土緑化推進機構 <https://www.green.or.jp/>

税金などの活用事例はうら面をご覧ください。

北信地域の税金や募金の活用の一例を紹介します

① 森林環境税

山の境界が分からないことが、森林整備の遅れの一因になっています。北信州森林組合では所有者立会いや測量で境界を明らかにし、境界データのデジタル化を進めています。データ化された場所は間伐などの森林整備が行われます。

② 長野県森林づくり県民税

地域の安全・安心な暮らしを守るため、クマやイノシシが出没する山きわや 踏みやすい場所に感応する柵を刈り払って人と動物が出会いにくくするためのゾーンを整備しています。倒木で電線を切断しそうな危険木の伐採も行っています。

③ 緑の募金

斑尾山から苗場山を結ぶ 全長110kmの自然歩道が安全に利用されるよう、倒木処理や草刈り、遊歩道整備など地元ボランティアの皆さんが行う整備活動を支援しました。

窓口：北信林業振興会 <https://sites.google.com/view/rokuninami/>

北信地域の森林環境税、長野県森林づくり県民税、緑の募金の活用実績をもう少し詳しく知りたい方は、以下のホームページをご覧ください。

<https://x.gd/GCOA2>

[北信地域振興局林務課制作・印刷します。必要なのはご利用ください。]

[詳細内容は印刷して管内6市町村の林務担当窓口にて置いてあります。必要なのはご利用ください。]

(中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野付温泉村・栄村)

■ チラシに関するお問い合わせ

長野県北信地域振興局 林務課 林務係

中野市大字壁田955
電話 0269-23-0215 (受付時間：平日9時～16時30分)